



2018 清晨会 PART II 書展

と き:平成 30 年 11 月 6 日(火)~11 日(日)

と ころ:名古屋市民ギャラリー栄

一列にすっきりと展示された展覧会会場は白と黒の世界。

今回のテーマ作品は、「筆を使わず身の回りにあるもので書く。文字ではなく自由に墨で表現する。表具は各々手作りにて仕上げる」という初めての課題に取り組みました。



梅雨入りも間近となった6月のはじめより準備にとりかかり、どのような素材で書くか、イメージをどう表現するかで出品者一同の試行錯誤が始まりました。

途中、悩み・ひらめき・試すを繰り返し、また師・企画者のアドバイスを経て、

各自で制作、作品決定会では、それぞれが思い思いに全く異なる作品を仕上げ、どの作品に決めるか迷うほどでした。

会場を訪れた方々に「こちらは書道展ですか」と尋ねられるほど個性ある作品が並び、「作品からいろいろなイメージが湧きとても楽しく観ました」といった嬉しいお声もいただきました。

また、別室には恒例の御嶽の合宿にて書き上げた大作、および学生部の近代詩や漢字作品を展示しました。展示も粗密を作るなど工夫したものにしました。

お忙しいなか会場にてご批評いただいた諸先生方、そしてお運びくださった大勢の方々に厚く御礼申し上げます。また御指導いただいた先生に感謝し、来年に向けて精進したいと思います。ありがとうございました。

(安田 春麗 記)